



## 明日から樂に

岡本利吉

明日から樂になる方法はないかと聞いてきた。不景氣も失業も農村疲弊もなくなり、明日から樂になる工夫がないか尋ねてきた。そんな不思議な癡癡わ、地獄の上にない乞食生活が苦しくなつたのを、長い誤謬の結果である。長い誤謬の意識と生活から、こんなにクルくなる。此筋に行けばもつとクルくなる。今現に誤謬意識を持つてゐる。それを捨てれば、決して樂にわからぬ。それを捨てれば多くの人が、ささい捨てれば明日からでも樂になる。

誤謬の意識を持ち、あやまつた生活をしていて、明日から、來年からも、樂になる筈がない。(人間二十三号ヨリ)

農業教育は老人から

新波戸農法學博士談

曾つて井上馨氏が在籍當時大に勵農に努めて、新らしい農具など農民に貢献へたが、農業後も調べて見るを爺さんや婆さんに反対されたり。農業の改良は行はれない。

(縣農會報ヨリ)  
農業教育は、どうしてもこの頑迷な老人から教育していかなければならぬ。エマーソンは「教育は幼稚園から始めては遅い。お婆さんはから始めなければならない」と云つたが、農業も正にその通り、老人の頭から改造して使用する者がない、藏の中に仕舞込んであつた。

## 養鷄・養豚

## 黄金時代

養鷄組合聯合會創立サル

生産過剰ニ又ハ不慮ノ被害ノ難局

最近全國的ニ養鷄熱高マリ就中本  
村ノ養鷄ノ急進的發展振ハ郡下ニ  
於ケル第一ト自己共ニ許ス處ニシ  
テ本春育成中ノ雛總數約ク九二〇  
○○○○○餘ノ見込ナリ然シテ斯ノ  
如ク各地的發展ヲ見ル場合ハ或ハ

トシテ今回竜丘養鷄組合聯合會ヲ

スル堅實ナル經營方計ノモトニ進展

創立シ左ノ項ヲ遂行スルコトト

農會長中田幸、副會長中嶋金一郎

役員

大平權三、吉川亘、木下正三、

伊藤元一、小林貞七、小林善、岡村

今村榮藏、中田伊作、中嶋金一、増

田鐵彌、中田鎧、塙平善男、塙

平善一

二郎、中平竹一、木下三四郎、

下平保治、原源一、木下奥

次郎、岡村治司、林順一、山田

政四郎、中田幸、塙田惣一、増

田鐵彌、中田鎧、塙平善男、塙

平善一

二郎、中平竹一、木下三四郎、

大平權三、吉川亘、木下正三、

伊藤元一、小林貞七、小林善、岡村

今村榮藏、中田伊作、中嶋金一、増



## 丘の學校便り (二)

(八) 模倣性に富んでゐるのです。これも求知心の表はれでせうが、何んでもかでも、まねをします。そうして伸びてゆくのです。悪い手本を示すことを恐れねばならんと思ひます。

(九) 活動性がみち／＼てゐるのが子供です。

ちつとして居れないのです。ちつとしておる様ではどこかに悪いところがあると思はねばなりません。ちつとしておる様では病人ですが、ちつとしておる様では病人です。机にむりやり長くおくことはいけないことです。

士いぢりをしたいと思ふとすぐとんで行く。こしらへたかと思ふとすぐこはす、泣いてゐるかと思ふともう笑ふ、それが子供です。誰も活動性のあるものを好みます。

(一〇) 残忍性を持つと同時に、亦憐みの心を持つてゐます。

(一一) 子供は想像家であります。おどぎ話を聞きたがります。面倒がらずに嘶のよいのを聞かせてやります。

(一二) 覧集性を持つてゐるのが子供であります。

(一三) 子供は正直者であります。大人の考へて、わけのわからぬ石ころや、棒をさへ、喜んで集めます。こゝが子供の良いところでありまして、やたら子供にだまつて外へなぞ投げてたりなどするといけないことになります。

(一四) 子供の世界と、大人の世界とは大變ちがひます。

子供の寄り合つて話すことは、たわいもないかはりに、實にいゝ

ものです。ユーモアに富んでゐるものであります。大人の話は、他人をそしる様な(ウハサバナシ)話が多くて、それにはなるべくウハサ話は聞かせたくありません。大人は損得を目安に置くことが多いけれど子供は損得を考へることが少いから大變貴いものです。子供を親の勝手にしどね様とする危険です。親の爲めの子供ではなくて、子供は子供、親は親です。お互にかはいがらすにはおけないです。又尊重しあはすにはおかないのです。

俺が生んだ子供であるから、俺が勝手にするのであると思ふ心は、これは大變な間違ひです。兩親が本當に善良であるならば、その子供はきっと、兩親に對して善良好な子供である筈です。

(一五) 子供を監督するといふ事は、巡查が罪人に對する監視とは違ひます。そこをよく考へねばなりません。そこをよく考へねばならないのです。

(一六) 一年へ入學することは、個人から社會に入る初めであります。それで一年生の生活は、社會教育と學校教育の初步です。習慣づくめや、規律づくめへ、子供を入れてしまふことは社會を厭ふ心を作ります。この被害は各人が歯の傷んだり腹の傷む時の様に顯著であれば放任もして置かないだろうが比較的顯著でないのに顧みられない、實際はその影響の大なる事は教育上に又身體發育上に障害を與へてゐる事を確信します。

(一七) 入學したばかりの子供は身體がまだ／＼やはらかですから

一、子供の睡眠。九時間位ひは、皮がはげて落ちて仕舞ふ迄。

二、流行性感冦。ふくれが引ける迄。

三、おたふく風邪。養させて下さい。

四、水痘。

五、百日咳。咳が出なくなる迄。

一、用便の習慣。

朝起きたら、必ず用便をする習慣をつけて下さい。幼い子供のことですから便所へ行くことを忘れてしまふと心も体も想像以上に疲労しますから、夜分は思ふさま眠らせることが親切です。

二、用便の習慣。

朝起きたら、必ず用便をする習慣をつけて下さい。幼い子供のことですから便所へ行くことを忘れてしまふと心も体も想像以上に疲労しますから、夜分は思ふさま眠らせることが親切です。

三、食物は何んでも喜んで食べるやうに發育の悪い子供程食物に好き嫌ひを言つて、偏食に陥る事がありますから。

四、間食。

間食はお晝過ぎに一度位ひが適當でせう。

五、厚着の子供は丈夫ではありません。運動にさまたげとなるばかりでなく皮膚を弱くするから、風邪を引き易い子どもになり終るのでです。

(一九) 傳染性病氣に就いて

癪疹、トラホーム、百日咳、水痘、流行性感冒、其他流行性病氣の起つて來た時には我が子に罹らせぬ様、萬一罹つた場合には大勢の子供の迷惑にならぬ様、臨機の處置をとらねばなりません。

(二〇) 親の愛の歌(沼波瓊音作)

(二一) 着物をぬぎて子に着せて寒さ忘るる親心。我れ死ぬもしやめる子を救へど祈る親心。

(二二) 結語

子供の教育を第一として是に主力を注ぐ兩親は、子供の心身の中、自己を若返らせて、永遠に生くる事が出来る。終り。

御眞影奉迎

御眞影御下賜奉迎を四月十七日午前十時小學校門前に於て一般村民、各種團體、小學兒童の一同行してあます。

(二三) 子供は正直者であります。

(二四) 子供の世界と、大人の世界とは大變ちがひます。

子供の寄り合つて話すことは、たわいもないかはりに、實にいゝ

そこを考へてやらねばなりません。一年も早く卒業させ度いのは山々あります。後でとりかへしのつて其の手續をされた方がよいかと思ひます。

はせて無理をするのは良くあります。せん

一、麻疹の時。發疹が引つこんで七日間位は静養させて下さい。

学校を休むのを不名譽の様に思はせん

児童体格検査

小學校兒童

關醫師行なへり

ショウチズス豫防注射

全小學兒童に六月中旬頃チヨウ

に体格検査を接觸、林齒科醫師及

チズスの豫防注射を行なす

の沿道は道路の清潔を行なへり

當日は村内一般國旗を掲揚し殊に

御眞影御通過の駄馬、時又、桐林

春蠶休

小學校春蠶休は六月四日

より向二週間の豫定

これは年に一回でも驅除剤を用ひ

大體に於て逐年減少してゆく事は

表の示す所で明瞭であります

これは年に一回でも驅除剤を用ひ

すぐこそ、等は簡単で、實行し

て効果のあることです

これは年に一回でも驅除剤を用ひ

た結果と信じます。

これを隔月位に驅除する場合には

一層効果を擧げ遂には人体から驅逐し了る事を確信します

学校としては種々な都合上不可能

あります故其の点に留意され獨り子供に限らず一家舉つて實蹟を挙げられん事を望むものであります

以上

駆除豫防を講じてゐます

然しながら設備經費の關係上完全に檢便する事が出來ないので其の結果が正確なものでありません

けれども之れに依つてさへ検査人員の約半數は保卵若くは保虫者であります

この被害は各人が歯の傷んだり腹の傷む時の様に顯著であれば放任もして置かないだろうが比較的顯著でないのに顧みられない、實際はその影響の大なる事は教育上に又身體發育上に障害を與へてゐる事を確信します。

左に四ヶ年間の検査状況を掲げてみます

新任職員歡迎會

本年度本村義務教育費國庫負擔金は左記の如く交付さる

三九〇九四七七銭

開いた

御眞影御下賜奉迎を四月十七日

午前十時小學校門前に於て一般村

長校長司會の下に開催、茶話會后

村有力者及職員一同にて懇親會を開いた

御眞影御下賜奉迎を四月二十四日春の遠足

四月二十四日春の遠足

新任職員歡迎會

本年度本村義務教育費國庫負擔金は左記の如く交付さる

三九〇九四七七銭

開いた

御眞影御下賜奉迎を四月二十四日春の遠足

</div

# 青年欄

## 事業計畫

七

月

- △体育練習會 △登山 △讀書デー  
(農休)

八

月

- △第二回軍人慰問品發送△時報發行△遊泳會△夜營△定例貸出△夜間貸出

△ナシ

九

月

- 春期總會  
春期總會を四月十二日午後七時半より開催。今村禮治氏の規格統一に關する講話を聽取し後、入會式を舉行する  
昭和六年度入會者  
入會當年齡者小學校卒業者三十七名 外七名  
入會届出者數三十五名 内即時休會者十一名

△ナシ

春期總會

- 四月二十四日、桐林、駄科全員出勤下刈、二十五日は補習學校時又、上川路、長野原全會員出勤檜苗五千本を植付る

入會山植林

- 飯田町青年會より四月十八日本村青年會の活動内容及圖書館に付ての視察に來村せり

愛讀者各位に告示  
○各區支會文庫に對する團體貸出  
○但し個人の貸出は直接圖書館にて致しますから成可御利用下さい  
又拾月から始める豫定です  
○從前四月七日を以つて一まづ休む豫定です

## 丘の若人

諸兄姉に謹告

- 四月二十九日天長節祝賀會  
五月一日遠足運動會  
五月二日月見草並に櫻木の手入と肥料  
五月十日家鼠及害虫驅除茶話會  
廿五日櫻木植付天龍川沿岸及驛前道路

例會

廿九日

例會

